

米販売動向調査について（全米販）（令和6年9月分）

1. 回答数 53会員

2. 調査結果概要

Q1：昨年9月と比べた令和6年9月（1か月）の米販売量

「減った」が最も多いが、「増えた」と「やや増えた」を合わせると5割になる。

Q3：3か月前（令和6年6月）と比べた販売動向

「良くなっている」と「やや良くなっている」を合わせた回答数が「悪くなっている」と「やや悪くなっている」の回答数を上回り、DI値は「57.1」。

Q5：3か月先（令和6年12月頃）の見通し

「やや悪くなる」が約3割と最も多く、「悪くなる」と合わせると約6割になり、DI値は「38.2」。

3. 集計結果

Q1：昨年9月と比べた令和6年9月（1か月）の米販売量

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
53	15	12	6	4	16
100.0%	28.3%	22.6%	11.3%	7.5%	30.2%

Q3：3か月前（6年6月）と比べた販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
53	18	7	9	10	9
100.0%	34.0%	13.2%	17.0%	18.9%	17.0%

DI値
57.1

（参考）規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
58.3	52.6	60.0

Q5：3か月先（6年12月頃）の見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
53	1	15	7	18	12
100.0%	1.9%	28.3%	13.2%	34.0%	22.6%

DI値
38.2

（参考）規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
27.8	35.5	44.0

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満
規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：現在（6年9月）の米販売量（前年同月との比較）

- 令和の米騒動に加え地震、台風の影響で出荷量（量販店・DS）が大幅に増えた。
- 家庭用精米の古米販売は出荷制限せざるを得ない状況が続いた。新米では賄えておらず、苦戦した。
- 新米出荷の際の初回発注は例年より多かったが、その後の買い溜めと売価高騰の為か販売は伸びず、結果平年とほぼ変わらない販売数量となった。

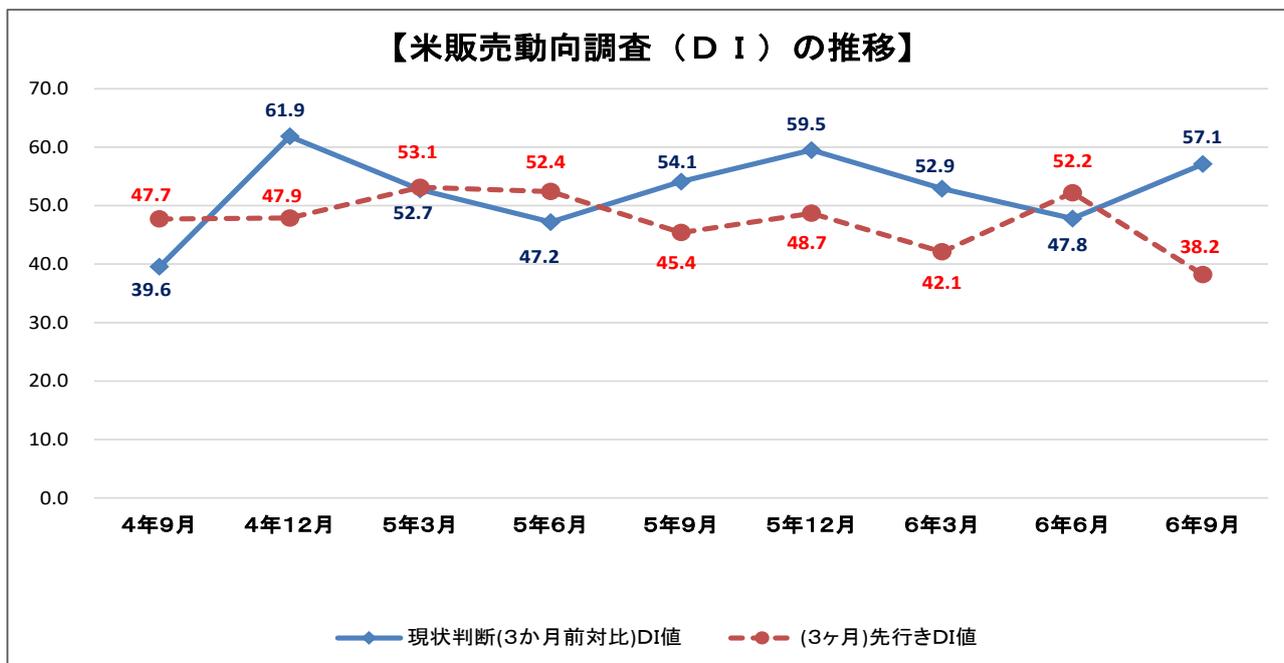
Q3：過去（3か月前）と現在の動き

- 新米価格に対応できない納品先が増えている。
- 米の品薄による買い溜めによって売上が伸びたと考えられる。
- 新米が出始めたことにより玄米販売が回復したことで、全体の販売数量は微増の結果。

Q5：将来（3か月後）の動き

- 農家直売が増えたため、すでに動きが悪くなっている。
- 米価上昇により中食・外食関連などで使用量を減らす動きが出てきている。
- 仕入数量の確保に不安があり、積極的な販売ができないのではないか。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年9月と比べた令和6年9月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	41.2	14.7	5.9	8.8	29.4
中小スーパー	100%	33.3	19.6	11.8	5.9	29.4
米穀専門店	100%	6.3	25.0	27.1	14.6	27.1
その他	100%	15.0	15.0	22.5	10.0	37.5
(外食産業向け)						
外食向け	100%	15.7	21.6	52.9	5.9	3.9
中食向け	100%	10.2	26.5	51.0	6.1	6.1
給食向け	100%	9.8	11.8	66.7	7.8	3.9

Q4：3か月前（令和6年6月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	22.9	20.0	8.6	31.4	17.1	50.0
中小スーパー	100%	21.6	21.6	19.6	17.6	19.6	52.0
米穀専門店	100%	10.6	12.8	40.4	19.1	17.0	45.2
その他	100%	13.2	13.2	31.6	15.8	26.3	42.8
(外食産業向け)							
外食向け	100%	7.8	17.6	60.8	9.8	3.9	53.9
中食向け	100%	8.0	20.0	56.0	12.0	4.0	54.0
給食向け	100%	7.8	3.9	80.4	5.9	2.0	52.5

Q6：3か月前（令和6年12月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	0.0	34.3	11.4	28.6	25.7	38.6
中小スーパー	100%	0.0	31.4	13.7	33.3	21.6	38.7
米穀専門店	100%	2.1	18.8	33.3	35.4	10.4	41.7
その他	100%	2.6	17.9	41.0	25.6	12.8	42.9
(外食産業向け)							
外食向け	100%	0.0	24.0	46.0	28.0	2.0	48.0
中食向け	100%	0.0	22.4	44.9	28.6	4.1	46.4
給食向け	100%	0.0	10.0	76.0	14.0	0.0	49.0

*DI (diffusion index) の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				